

岩手のスポーツに 明るい未来を!

岩手県民が“一岩”になって応援できる
スタジアムをつくらう!

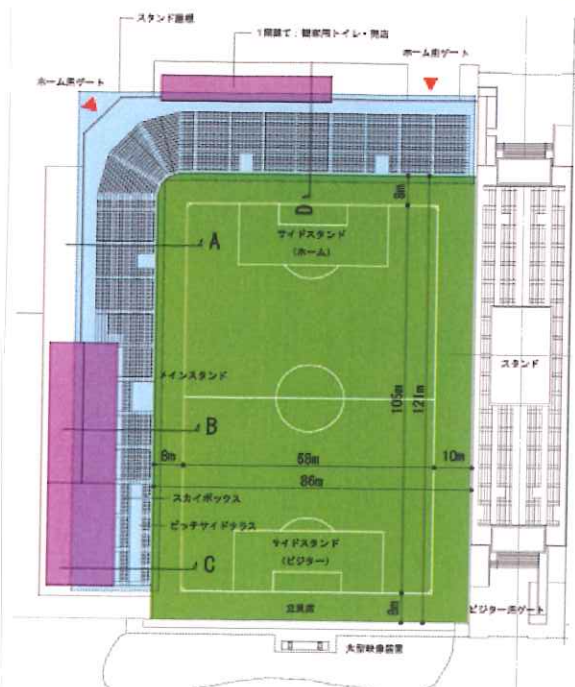
■ 目指すべきスタジアムとは

屋根付きの観客席やビジネスラウンジなどのVIPルームでの特別な観戦ができ、大容量高速通信設備を備えているフットボールスタジアムであること。

そして屋根付きのスタジアムが出来ることで、これまではできなかった大型イベントやサッカー、ラグビーの国際試合など様々なチャンスをおこれらにより生み出すことが可能になります。

現在のいわぎんスタジアムは屋根もなく雨天時は濡れながらの応援となり、運営上、急な落雷が発生した場合に避難するエリアの確保も難しい状況にあります。

より良いスタジアム環境を整え、子どもたちを含む多くの方たちに安全で快適に観戦していただけることで、感動と喜びを共有したいと願っています。



いわぎんスタジアムをJ1ライセンスが取得できるように改修整備することを要望する署名運動

公益社団法人 岩手県サッカー協会 岩手県ラグビーフットボール協会
会長 森 亮 会長 白根敬介
株式会社 いわてアスリートクラブ いわぎんスタジアム協議委員会
代表取締役社長 秋田 豊 委員長 小松 豊

私たち岩手県サッカー協会、岩手県ラグビーフットボール協会、いわてグルージャ盛岡及びいわぎんスタジアム協議委員会は、サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、岩手県民の心身の健全な発達と社会の発展に寄与するためにサッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、県民が幸せになれる環境を作り上げることを目指し、日々活動しています。

その中で、岩手県サッカー協会は、県民に希望と感動を与えることのできるJリーグチーム・いわてグルージャ盛岡を応援し、グルージャはJリーグに加盟するトップチームの活動だけではなく、アカデミー・スクール、サッカー教室等のホームタウン活動の中でスポーツを通じた、子どもたちの健全な育成に力を入れております。

しかし現在、いわてグルージャ盛岡は2021年にJ2に昇格したことにより2025年6月までにJリーグにスタジアム基準を満たす整備計画書を提出し、2031シーズン前までにスタジアムを建設する必要があります。

それが叶わない場合はJ2への昇格が出来なくなり優秀な選手や指導者が集まりません。また、県内外のスポンサー離れが予想され、戦力や資金力が著しく低下し、JFLや地域リーグへの降格の可能性が非常に大きくなります。そうすると岩手県からプロのサッカークラブが消滅し年間約33億円の経済波及効果の消失にもつながります。(※経済効果NET参照)

そこで私たちは、岩手県全土をホームタウンとするクラブとして、岩手県のサッカーやスポーツを通じた地域の活性化、子供たちの育成に繋がるスタジアムの整備を実現するため、署名運動を実施致します。

趣旨にご賛同いただき署名運動へのご協力をよろしくお願い致します。

【署名に関する注意事項】

- ご記入いただいた個人情報は、目的以外の用途には一切使用しません。
- ご記入いただいた署名は取り纏めて、盛岡市・岩手県へ提出します。
- 署名に当たり、年齢・居住地は問いません。(積極的声かけは盛岡市及び岩手県内とします)
- 住所は都道府県から省略せずにご記入ください。ご家族でご記入される際も必ずお一人様一枠を使用しご記入ください。また、住所が同じでも「同上」と省略せずにご記入ください。
- ボールペンまたはサインペンにて必ず自筆でご署名ください。

【募集期間】2024年6月22日(土)～2024年7月31日(水)

私たちは、いわぎんスタジアムをJ1ライセンスが取得できるように改修整備することを要望します。

No.	氏名	住所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		